

## SDGsへの取り組み

### 【持続可能な太宰府構想】気候非常事態「ゼロカーボンシティ」を宣言

本市では、気候が非常事態であることを認識し、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ社会の実現を目指すために、「太宰府市気候非常事態ゼロカーボンシティ宣言」を発出しました。

宣言の発出式では、本市環境審議会の浅野直人会長、環境省より出向していた五味俊太郎総務部理事、未来を担う世代として地元大学生の川口桃恵子さん、地元小学生の兵連綾香さんが出席し、賛同者として宣言書にサインしました。その後、環境省の中井徳太郎事務次官とオンラインのリモート形式で、脱炭素に向けた展望について意見交換を行いました。

ゼロカーボンシティとは環境省が呼びかけている取り組みで、首長自らまたは地方自治体が2050年までに温室効果ガスまたは二酸化炭素の実質ゼロを目指す旨を表明した自治体を「ゼロカーボンシティ」としています。

環境省と本市が2年間の人事交流を行っていた関係から、小泉進次郎大臣から直々に宣言を発出するよう楠田市長が依頼を受け、審議会、本市担当者と五味理事が中心となり宣言を練り上げました。

公共交通機関の利用促進や公共施設の温室効果ガス削減をはじめ、省エネ製品への買換えやシェアサービスの選択など一人一人ができる取り組みを意識することで、大切な地球を守ることに繋がります。

今後ますます環境問題に対する取り組みに理解が深まることを願う日となりました。



オンラインで意見交換する環境省の中井事務次官(右画面)と参加者

## 団体からの寄附

### 日之出水道機器(株)から「企業版ふるさと太宰府応援寄附」

平成6年度から図書購入費として寄附いただいている日之出水道機器(株)から、本年度は7月9日付で国から認定が下りた「企業版ふるさと太宰府応援寄附」として第一号の寄附をいただきました。

貴社は以前本市内に工場が所在し、移転後も寄付を続けていただき、これまでの累計寄附額は今回で実に1千万円を超え、市民図書館の「ヒノデ文庫」として多くの皆さんに親しまれています。

贈呈式では、藤忠臣九州支店長から「太宰府市とは古くからのご縁をいただいております、これからも何らかの連携を続けていきたい。市の宝である子どもの役に立ててほしい」とのお話がありました。



贈呈式の様子

## 団体からの寄附

### 筑紫地区建設コンサルタンツ協会が遊具などを寄贈

一般社団法人筑紫地区建設コンサルタンツ協会から、子どもの発育に有効な遊具と、室内の換気のためのサーキュレーターを寄贈いただきました。

同協会では、協会員の皆様の「地域のために何か役立つことを」との思いから、平成15年より筑紫地区の自治体に、車いす等を毎年寄贈されており、今回で19回目となります。

本市においても、今までに車いすや遊具を寄贈いただき、市内の公共施設において活用させていただいています。

今年寄贈いただきました遊具などは、多くの子どもたちが使用できるよう、うめっこテラス(子育て世代包括支援センター)に設置します。



贈呈式の様子

# 私のだざいふ

太宰府市文化財専門委員会会長

たなべ たかお  
田鍋 隆男 さん



一昨年は「令和」発祥の地として話題を呼び、今年は大宰府跡水城跡が国の史跡指定を受けて100周年という記念すべき年を迎え、現在太宰府市が推進している文化遺産の保存・活用政策にはずみをつけました。市民が悠久の歴史のなかに暮らし、多くの文化財が身近に存在している市は他にあまりないと思います。それ故に市民が文化遺産、文化財、市民遺産を保護し後世に伝えようとする意識が高いのには敬服します。最近の文化財専門委員会に於いて旧石器時代の石製遺物が審議されました。大宰府政庁の時代よりはるか昔の今から1万5千~1万2千年前のものです。そして突然の新型コロナウイルス禍による民俗行事が延期あるいは中止され、その後正確に伝承されるかの危機にさらされています。

新発見の文化財を一見し、郷土の人が築いた文化遺産をいつでも学習することが出来る常設展示室がある市立博物館の必要性を感じます。全国の自治体史の中でもトップクラスの『太宰府市史』全13巻を基柱に、太宰府市の歴史と文化財を視覚的に正確に知ることが出来る、私たちの学習拠点になればと思います。

# Contents

目次  
2021年9月1日号

## 特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス ..... 2~5

広報だざいふ創刊1000号 ... 6~7

公式ホームページをリニューアルします ..... 8~9

新型コロナウイルスワクチンの接種について ..... 10

スマホ納付はじまりました ..... 11

子育て世代包括支援センター「うめっこテラス」  
~あなたの子育てを応援します!~ ..... 12

市からのお知らせ ..... 13~20

連載 ..... 21~29

なんでも情報コーナー ..... 30~37

太宰府の文化財 ..... 38

# 市政ニュース

## 子どもたちに夢を

### 地元金メダリスト藤本索子さんを迎えて

太宰府市出身の藤本索子さんは北京オリンピックソフトボールで上野選手らと共に金メダルを獲得された郷土のスターです。

本市での聖火リレーでトップランナーを務めていただく予定でしたが、残念ながら大宰府政庁跡での代替セレモニー開催も認められず、平和台での点火セレモニーに参加されました。

一方、サポートランナーの子どもたちは、代替セレモニーも叶わず、点火セレモニーへの参加も認めてもらえず、大変心苦しい思いでした。

そうした思いから、藤本さんに改めて本市にお越し頂き、大宰府政庁跡にて聖火トーチと金メダルを披露頂く会を開催しました。

サポートランナーの子どもたちが四王寺山をバックにトーチとメダルを持って撮影する姿は、まさにインスタ映えする絶好の風景となりました。

金メダルを獲得した当時の思いや点火セレモニーの様子なども話して頂き、子どもたちに何かしら感じてもらえるきっかけになったなら本望です。



藤本索子さん(前列右から2番目)と参加者で記念撮影

## 自治体間連携

### 高岡市「万葉集全20巻朗唱の会」オンライン参加

10月1日から3日まで、富山県高岡市で開催予定の「第41回高岡万葉まつり『第32回万葉集全20巻朗唱の会』」にオンライン参加するため、大宰府政庁跡で動画を撮影しました。

大伴家持が赴任した越の国として、高岡市の会場では会場とオンラインとで万葉集全4516首をリレー方式で歌い継ぐ予定で、万葉衣装をまとった楠田市長は大伴旅人の歌をはじめ3首を高らかに朗唱しました。



朗唱収録中の楠田市長